



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場会社名 株式会社 ドウシシャ 上場取引所 東  
 コード番号 7483 URL http://www.doshisha.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 兼 最高執行責任者 (氏名) 野村 正幸  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 兼 常務執行役員 (財務経理、貿易業務、業務管理担当役員) (氏名) 藤本 利博 TEL 06-6121-5669  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	88,011	8.2	7,378	33.2	7,587	27.1	4,916	28.4
27年3月期第3四半期	81,310	△3.2	5,540	△13.5	5,968	△10.0	3,830	△1.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,904百万円 (△38.1%) 27年3月期第3四半期 6,307百万円 (38.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	133.18	132.55
27年3月期第3四半期	102.71	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	69,764	59,001	82.8	1,581.50
27年3月期	68,280	58,161	83.7	1,533.42

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 57,751百万円 27年3月期 57,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
28年3月期	—	20.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

配当予想の修正については、本日（平成28年1月29日）公表いたしました「平成28年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

27年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

27年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 15円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	6.1	8,300	26.8	8,700	22.3	5,500	22.8	148.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（平成28年1月29日）公表いたしました「平成28年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、「添付資料」P. 3「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	37,375,636株	27年3月期	37,375,636株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	858,606株	27年3月期	84,711株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	36,916,819株	27年3月期3Q	37,291,239株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、第1四半期連結累計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の景気対策や日銀の金融政策を背景に、緩やかな景気回復基調が続いております。しかしながら、中国経済の減速懸念をはじめ、世界的な景気の下振れリスク等により先行きは、依然として不透明な状況が続いております。個人消費については、外国人観光客の旺盛な消費に代表されるインバウンド需要が拡大する一方で、円安による物価の上昇や暖冬による季節商品の動きの鈍化など、成熟社会における生活の質の向上を重視する消費傾向はより顕著になってきております。

このような経営環境の下、当社グループでは開発・卸機能を持つ両輪のビジネスモデルを強みに、引き続き、販売戦略としては訪日外国人観光客向けのインバウンド需要への商品のスピード調達および売場提案力の強化、新たな販路開拓、既存売場への販促提案強化によるインスタシアアの拡大、また、アジア圏を中心とした海外販路開拓に取り組んでまいりました。商品戦略としては、これまで取り扱いのなかった新たなカテゴリーの展開や売れ筋カテゴリーに“さらなる上質感や便利機能”を付け加えてリニューアルすることにより、新たな付加価値商品の創出に取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高88,011百万円(前年同期比108.2%)、売上総利益21,438百万円(前年同期比111.2%)、営業利益7,378百万円(前年同期比133.2%)、経常利益7,587百万円(前年同期比127.1%)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,916百万円(前年同期比128.4%)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの利益又は損失の測定方法を変更しており、以下の前年同期間との比較については、前年同期間の数値を変更後の報告セグメントに組替えた数値で比較しております。報告セグメントの算定方法の変更の詳細につきましてはP10「セグメント情報等」をご覧ください。

「開発型ビジネスモデル」におきましては、ハウスウェア関連では、1年保証付きのこびりつきにくいフライパン「evercook（エバークック）」シリーズの売場での実演販売やDVD放映等の販促戦略が奏功し、販売が好調に推移しました。また、引き続きインバウンド需要のあるマグボトルの販売も好調に推移しました。家電関連では、デザイン扇風機でも人気の「kamome（カモメ）」シリーズから展開した大幸薬品の「クレベリン」とのコラボレーションによる空間除菌ができる加湿器カテゴリーをはじめ、アフォーダブルカテゴリーのデザインスティッククリーナー等の販売が伸びました。収納関連では、自社ブランド「ルミナス」として展開する主力のスチールラックやインテリアソファ・チェア等の販売が好調に推移しました。その他、アパレル、シューズ関連、A&V関連、100円均一商材の販売も好調に推移しました。しかしながら、ヘルス&ビューティ関連、業界の販売競争が激化するLED照明関連や低単価の輸入ワインを主力とするフード・リカー関連は、円安によるコスト増の影響により販売が低調に推移しました。

その結果、当セグメントの売上高は38,863百万円（前年同期比106.0%）、セグメント利益は2,966百万円（前年同期比153.0%）となりました。

「卸売型ビジネスモデル」におきましては、有名ブランドにおいては、売れ筋カジュアルブランドバッグやライセンス・開発ブランドの「U. S. POLO（ユーエスポロ）」や「Furbo（フルボ）」等における事業部横断での販促プロモーションによる拡販が進み、販売が好調に推移しました。加えて、高級時計も、引き続き訪日外国人観光客向けの免税店業態等の売場において販売が前年同期を大きく上回り伸びました。ギフト関連では、歳暮商戦において主力のアソートギフトや新たに展開した地方漁港とのタイアップによる鮮魚ギフト等の産直ギフト、銘店とのタイアップやコラボ企画を充実した特選ギフト等により販売が好調に推移したものの、中元商戦における夏場の天候不順の影響により、当第3四半期連結累計期間の販売は前年同期対比で微減となりました。

その結果、当セグメントの売上高は46,342百万円（前年同期比110.7%）、セグメント利益は4,275百万円（前年同期比117.9%）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は55,787百万円となり、前連結会計年度末（54,165百万円）に比べ1,621百万円増加いたしました。これは主に、受取手形及び売掛金8,660百万円、電子記録債権577百万円、商品及び製品1,400百万円の増加及び現金及び預金7,651百万円、その他1,365百万円の減少によるものであります。固定資産は13,976百万円となり、前連結会計年度末（14,114百万円）に比べ137百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、69,764百万円となり、前連結会計年度末（68,280百万円）に比べ1,484百万円増加いたしました。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は10,038百万円となり、前連結会計年度末（9,321百万円）に比べ716百万円増加いたしました。これは主に、買掛金1,037百万円の増加及び未払法人税等188百万円、その他129百万円の減少によるものであります。固定負債は724百万円となり、前連結会計年度末（797百万円）に比べ72百万円減少いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は59,001百万円となり、前連結会計年度末（58,161百万円）に比べ840百万円増加いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益4,916百万円、株式報酬費用の計上により新株予約権が171百万円の増加及び剰余金の配当1,477百万円、自己株式の取得1,696百万円、繰延ヘッジ損益1,192百万円の減少によるものであります。

この結果、自己資本比率は、82.8%（前連結会計年度は83.7%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は19,085百万円となり、前連結会計年度末より7,651百万円減少いたしました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果減少した資金は4,119百万円（前年同期は3,435百万円の減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益7,579百万円、仕入債務の増加額1,036百万円による増加及び売上債権の増加額9,237百万円、たな卸資産の増加額1,399百万円、法人税等の支払額2,671百万円による減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は130百万円（前年同期は440百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出121百万円による減少によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は3,329百万円（前年同期は4,678百万円の減少）となりました。これは主に、配当金の支払いによる支出1,476百万円及び自己株式取得に伴う支出1,696百万円による減少によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、平成27年5月8日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成28年1月29日公表の「平成28年3月期通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	26,736	19,085
受取手形及び売掛金	16,364	25,024
電子記録債権	526	1,103
商品及び製品	7,614	9,014
短期貸付金	21	22
その他	2,905	1,539
貸倒引当金	△2	△3
流動資産合計	54,165	55,787
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,621	7,616
減価償却累計額	△3,573	△3,708
建物及び構築物 (純額)	4,048	3,907
土地	6,588	6,588
その他	1,753	1,873
減価償却累計額	△1,092	△1,265
その他 (純額)	661	607
有形固定資産合計	11,297	11,103
無形固定資産	148	128
投資その他の資産		
投資有価証券	1,593	1,684
長期貸付金	29	16
その他	1,071	1,071
貸倒引当金	△27	△27
投資その他の資産合計	2,667	2,744
固定資産合計	14,114	13,976
資産合計	68,280	69,764
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,698	5,736
未払法人税等	1,515	1,326
役員賞与引当金	62	69
賞与引当金	45	35
その他	2,999	2,870
流動負債合計	9,321	10,038
固定負債		
退職給付に係る負債	389	360
資産除去債務	55	56
その他	352	307
固定負債合計	797	724
負債合計	10,119	10,762

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,993	4,993
資本剰余金	6,043	6,043
利益剰余金	44,526	47,965
自己株式	△80	△1,776
株主資本合計	55,482	57,225
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	260	320
繰延ヘッジ損益	1,379	186
為替換算調整勘定	177	101
退職給付に係る調整累計額	△117	△82
その他の包括利益累計額合計	1,700	526
新株予約権	173	345
非支配株主持分	804	904
純資産合計	58,161	59,001
負債純資産合計	68,280	69,764

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	81,310	88,011
売上原価	62,034	66,572
売上総利益	19,275	21,438
販売費及び一般管理費	13,734	14,060
営業利益	5,540	7,378
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	50	16
投資有価証券売却益	5	3
債務勘定整理益	30	33
為替差益	268	130
その他	109	59
営業外収益合計	470	248
営業外費用		
支払利息	9	6
支払手数料	14	15
投資有価証券評価損	—	3
その他	18	13
営業外費用合計	42	39
経常利益	5,968	7,587
特別利益		
関係会社清算益	13	—
関係会社株式売却益	158	—
特別利益合計	172	—
特別損失		
関係会社株式評価損	3	7
関係会社貸倒引当金繰入額	14	—
特別損失合計	17	7
税金等調整前四半期純利益	6,124	7,579
法人税、住民税及び事業税	2,056	2,476
法人税等調整額	31	8
法人税等合計	2,088	2,485
四半期純利益	4,036	5,094
非支配株主に帰属する四半期純利益	205	177
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,830	4,916

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,036	5,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	85	60
繰延ヘッジ損益	2,139	△1,192
為替換算調整勘定	35	△92
退職給付に係る調整額	10	34
その他の包括利益合計	2,271	△1,189
四半期包括利益	6,307	3,904
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,075	3,742
非支配株主に係る四半期包括利益	232	161

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	6,124	7,579
減価償却費	378	368
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△0	7
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	△9
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△144	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	35	12
受取利息及び受取配当金	△57	△20
支払利息	9	6
関係会社株式評価損	3	7
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△5	0
関係会社株式売却損益 (△は益)	△158	—
関係会社清算損益 (△は益)	△13	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,824	△9,237
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,045	△1,399
仕入債務の増減額 (△は減少)	862	1,036
未払消費税等の増減額 (△は減少)	302	△419
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△357	△327
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	902	755
その他	315	176
小計	△677	△1,461
利息及び配当金の受取額	57	20
利息の支払額	△11	△6
法人税等の支払額	△2,803	△2,671
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,435	△4,119
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△2,000	—
定期預金の払戻による収入	2,000	—
有形固定資産の取得による支出	△170	△121
投資有価証券の取得による支出	△22	△13
投資有価証券の売却による収入	27	6
関係会社株式の取得による支出	△50	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	555	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	132	—
貸付けによる支出	△36	△4
貸付金の回収による収入	17	16
その他の支出	△19	△16
その他の収入	5	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	440	△130
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△5	—
社債の償還による支出	△2,500	—
自己株式の取得による支出	△0	△1,696
リース債務の返済による支出	△66	△68
割賦債務の返済による支出	△25	△25
配当金の支払額	△1,303	△1,476
非支配株主への配当金の支払額	△778	△61
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,678	△3,329
現金及び現金同等物に係る換算差額	60	△72
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△7,612	△7,651
現金及び現金同等物の期首残高	26,233	26,736
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,620	19,085

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年1月30日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式773,700株の取得を行いました。この結果、自己株式が1,695百万円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	36,649	41,856	78,505	2,804	81,310	—	81,310
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	6,289	6,289	△6,289	—
計	36,649	41,856	78,505	9,094	87,600	△6,289	81,310
セグメント利益	1,938	3,626	5,564	289	5,853	△313	5,540

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△313百万円の内訳は、セグメント間取引の消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△133百万円及びその他調整額△196百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	開発型 ビジネスモデル	卸売型 ビジネスモデル	計				
売上高							
外部顧客への売上高	38,863	46,342	85,206	2,804	88,011	—	88,011
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	6,395	6,395	△6,395	—
計	38,863	46,342	85,206	9,199	94,406	△6,395	88,011
セグメント利益	2,966	4,275	7,241	534	7,776	△397	7,378

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、不動産事業、物流事業、介護福祉事業及び海外子会社等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△397百万円の内訳は、セグメント間取引の消去14百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△113百万円及びその他調整額△298百万円であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間に、社内の管理手法の変更に伴い、開発型ビジネスモデルに区分し測定していた一部の売上及び利益を卸売型ビジネスモデルへ変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。